

ミセイ Vitarity カップ

JVA 第 46 回全日本バレーボール小学生大会 千葉県大会開催要項 (案)

主 催	公益財団法人 日本バレーボール協会／一般社団法人日本小学生バレーボール連盟／読売新聞社
共 催	千葉県バレーボール協会/千葉県小学生バレーボール連盟
後 援	開催地公共団体／公益財団法人 日本スポーツ協会日本スポーツ少年団
特別協賛	住友生命保険相互会社
協 賛	デサントジャパン株式会社／ゼビオグループ／株式会社ピーアンドピー浜松
協 力	株式会社プレナス
主 管	都道府県バレーボール協会／都道府県小学生バレーボール連盟 JVA 第 46 回全日本バレーボール小学生大会都道府県大会実行委員会

1. 開催期間 2026年5月1日(金)～2026年6月28日(日)※JVA規定

開催期日／会場

1次予選	令和8年5月1日～5月17日	県内各地体育館
2次予選	令和8年5月18日～5月31日(予備日6月6日)	県内各地体育館
県大会初日	令和8年6月7日	富津市総合社会体育館、館山運動公園体育館
男子・女子・混合決勝大会	令和8年6月28日	船橋アリーナ(3面)

開始時間

1次、2次予選／支部B大会	各支部、競技委員の指示による
千葉県大会初日	各体育館千葉県小連役員の指示による
千葉県大会決勝大会	開会式 9:30～ 試合開始 9:50～

2. 参加資格 (1)2014年4月2日以降に生まれた者で、2026年5月1日現在、国、公、私立の小学校および各種学校に在学していること。
(2)公益財団法人 日本バレーボール協会チーム登録規程に基づき、2026年4月1日以降、都道府県大会参加申込書締め切り日までに、公益財団法人日本バレーボール協会－MRSの登録を済ませていること。
なお、都道府県スポーツ少年団に加盟しているチームも、同様の手続きを済ませること。

3. 競技規則 2026年度 公益財団法人 日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。
ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。
・一次予選、二次予選、県大会ともにSTO(セーフティタイムアウト)を採用し、11点で行うこととする。
・監督は自チームのアタックラインの延長線上からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながら歩きながらも指示を出すことができる。
この時、ラインジャッジの視界を遮ってはならない。
※この取り扱いには検証のための試験運用とする。

4. 競技方法

- (1)1次、2次予選(男子/女子/混合) 組み合わせブロックごとに実施する。
(2)支部B大会 カテゴリー、支部ごとに実施する。
※支部B大会は支部で参加チームが規定数に満たない場合は隣接する支部、カテゴリーを越えての合同開催も可とする。
(3)千葉県大会初日
《参加チーム数》男子12チーム 女子16チーム、混合12チーム
※初日参加数は各カテゴリー参加チーム数24チームを16チーム基準値とする

(全カテゴリー)シードチームと2次予選を勝ち抜いたチームによるトーナメント戦を実施。

基準値により、当初予定より参加チーム数が変動したため、

下記の通り県大会出場チーム数を設定する

男子参加数20チーム→県大会12チーム

混合参加数22チーム→県大会12チーム

女子参加数32チーム→県大会16チーム

(4) 千葉県大会決勝トーナメント

(全カテゴリー) 県大会初日を勝ち抜いた4チームでトーナメント戦を行なう。

また、関東大会予選に向けて今年度より3位決定戦を行う。

予選抽選会 4月26日 日曜日

19:00～男子 19:20～混合 19:40～女子

ZOOMにて開催(時間は予測時間)

抽選会案内は後日ホームページ掲載。

※JVA 規定の開催期間内に行うため登録締め切り前に参加チームは申し込みを行うこと。

抽選組み合わせ準備のため、申込期日前に各支部長取りまとめの上、

各カテゴリー参加チーム数の確認を行う。

男子:第1シード丸山 VCB、第2シード佐原クラブ、第3シード実花 VBC、第4シード松戸ミライズ

女子:第1シードてっぺん、第2シード君津ジュニア、第3シードみつわ台、第4シード流山ジュニア

混合:第1シード印旛ヴィクトリー、第2シード八千代台 VBC、第3シード BRAVES、第4シード飯岡ジュニア

5. チーム編成

(1) 全ての大会(1次予選、2次予選、県大会初日、決勝大会)において、

チームは**監督1名コーチ2名まで、マネージャー1名**、選手14名以内とする。

(2) 都道府県大会に出場するチームは、監督、コーチ、マネージャーは同一団体に限り変更できる。

選手については、同一チーム内で参加資格を満たしているものであれば、1次、2次予選時と違う選手に交代してもよい。

ただし、同一チームであっても、他の部門に参加している場合には、大会期間中(予選から本大会)は他のチームの構成員として参加することはできない。

同じ部門に2チーム参加している場合には、敗戦したチームのメンバーも含めて1チームに編成し直して申し込みすることができる。

※全国大会においても同一チーム内で参加資格を有しているものであれば、都道府県大会時と違う選手に交代してもよい。

(3) 監督・コーチは成人であること。

又、ベンチスタッフのうち1名以上は、JVA ベーシックコーチライセンス、

または公益財団法人日本スポーツ協会認定バレーボールスタートコーチ・コーチ1～4のいずれかの資格取得者でなければならない。

又、試合時には証明書等を胸にさげていなければならない。

(4) 全国大会出場においても指導者資格は(3)と同様となる。

(5) ベンチスタッフは、JVA-MRSに登録され、かつ、宣誓書を提出した者に限る。

(MRSに役員登録している方もチームスタッフとして登録が必要。)

監督、コーチ、マネージャーの服装は短パン、タンクトップは不可とし、監督、コーチ、

マネージャー章を各チームで用意し、必ず左胸に付けること。

ただし、小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パンを認める。

シャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。

(6) 成人のベンチスタッフは、日常子どもたちの健全育成を目指して指導に当たっている都道府県大会実行委員会が認めた者であること。

暴力、暴言、セクシャルハラスメント等、指導者として不適切な行為を行っている者の出場は認めない。

(7) 他都道府県在住であって、新年度の登録の際に移籍登録した選手はベンチには3分の1以内とする。

また、コート上には2名以内とする。

他都道府県在住であっても、前年度までに登録していればこの制限の対象とはならない。

監督は試合時に、新年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。

(8) 混合の部では、コート内に男子及び女子が常に1人以上いること。

6. 審判員 公益財団法人 日本バレーボール協会並びに都道府県バレーボール協会公認審判員。

7. 使用球 公益財団法人 日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボール

男子・混合 ミカサボール (V400W-L)

女子 モルテンボール(V4M5000-L)

8. 競技服装 (1) 選手の背番号は1～99とするが、1～14番が望ましい。

(2) ユニフォームの背番号の色は、ルールに則って地の色と対照的な色を使用し誰もが見え易いものにする。

(3) ユニフォームの胸部もしくは背部に JVA-MRS に届け出たチームネーム又はそれを特定できる略称を付けること。

(4) 混合チームのユニフォームは、相手チーム、観客、レフェリーから見て明瞭に男女の区別ができるように、男女のユニフォームのカラーやデザイン面に注意すること。

(JVA ユニフォーム規程図解リベロプレーヤーのユニフォームを参照)

9. 表彰 男子・女子・混合

優勝、準優勝、3位、敢闘賞までの4チームを表彰する

大会の結果、全国大会に出場するチームは**千葉県バレーボール協会長が推薦する**

男子・女子・混合各2チームとする。(開催地枠含む)

・全日本小学生バレーボール大会 26年8月3日～6日

10. スポーツ傷害保険 スポーツ傷害保険には団体単位で必ず加入しておくこと。

11. 参加申込み方法

(1) 予選大会(1次、2次)

県小連ホームページからトーニーシステムでの参加申込みとする。

プログラムエントリーも兼ねる。

(2) 千葉県大会参加チーム

県大会参加チームは、MRS 大会管理による大会申し込み手続きを済ませること。

JVAMRS 大会管理からの申し込みについては後日改めて案内する。

(3) 支部 B 大会

男子、女子、混合各支部にてカテゴリー単位で開催。

支部長取りまとめで申し込み、並びに大会を実施する。

※参加チーム数により、他支部、他カテゴリー合同開催は相談の上、可とする。

参加申込みプログラムエントリー期日 | 2026年4月24日(日)厳守

千葉県大会出場チームは千葉県小学生バレーボール連盟ホームページより「各種用紙」内に格納されている「プログラムエントリー」に必要事項を記載して申し込みを行うこと。
※チームの集合写真はプログラムに使用、プラカード入りが望ましい
※大会出場予定チームは、速やかにプログラムエントリーの実施をお願いします。
※各チームにおかれましては必ず、期日までのご対応をお願い致します。

今年の大会テーマは

「想いをのせ 全集中だ この一本！！」

12. その他

- (1) 審判法、健康診断、傷害保険については、今までの大会に準ずる。
- (2) 試合開始前、試合間のチーム練習は同大会登録スタッフ、選手のみコート内の練習に参加することができる。
- (3) アンダーウェア着用はベンチ入り選手全員が同じ色で揃っていることを条件に着用を認める。明らかにユニフォームと色違いの腰に巻くサポーター、コルセット等はユニフォームの下に着用しなければならない。
- (4) 試合時におけるベンチスタッフのマークについては、左胸につけること。
- (5) 大会出場チームは、コート設営等に協力をすること。
- (6) 参加チームは、審判実施にあたり「ホイッスル」、「線審フラッグ」を持参すること。
- (7) 大会出場チームは大会プログラム(有料)へのチーム写真、チーム紹介について県小連 HP を確認し各チームにて期日までにプログラムエントリーを行うこと。
- (8) プログラムはチーム 6 冊 (600 円×6 冊=3,600 円) 購入を必須とし、支払いは指定する口座へ期日までに振り込むこと。
- (9) ベンチでのスマホ、タブレットの利用(カメラ、通信機能)は禁止とする。
- (10) スマートウォッチは時計以外の機能の使用は禁止とする。
- (11) ベンチでのカメラ利用は禁止とする。

13. 問 い 合 せ 競技委員長 栗林昇司

s.kuribayshi@gmail.com